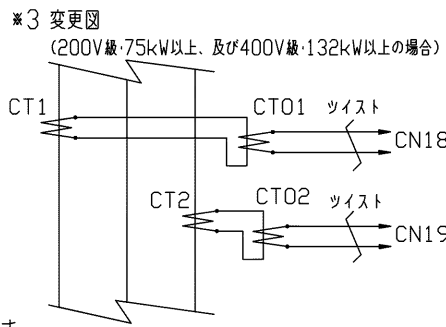


消火ポンプ制御盤EPM3の注意事項

(1) 共通事項

- 破線 — — — 一部の配線はお客様接続範囲となります。ただし、下記の場合接続して出荷されます。
 - ※16 電動機配線：陸上ポンプで制御盤搭載の場合
 - ※13 呼水槽フロートスイッチ配線・※17 吐出量センサ配線：制御盤搭載の場合
(ただし、吐出量センサの配線は、アナログ式流量計を使用する場合はありません。)
 - ※5 圧力スイッチ配線：圧力空気槽付で制御盤搭載の場合
- ※1 消火水槽の減水警報を行う場合は、電極棒へ結線時に端子E2-E3間の短絡線を外してください。
消火水槽満水・減水警報不要の場合は、未配線で水位警報は出力されません。
- ※2 補助高置水槽の減水警報を行う場合は、電極棒へ接続時に端子E5-E6間の短絡線を外してください。
補助高置水槽満水・減水警報不用の場合は、未配線で水位警報は出力されません。
- ※3: 200V級・75kW以上、及び400V級・132kW以上の場合、右図の様に回路が変更になります。
- 信号線と動力線を同一電線管に、収納しないでください。ノイズにより電子回路が誤動作する恐れがあります。
尚、外部ケーブルの引き込み位置は制御盤の底面です。
-  内は特殊仕様内容及び、制御盤設置方法により変更、もしくは回路追加となります。
また、特殊仕様(バリエーション)のとき、※19 制御盤型式は、末尾にXが付加します。
- 流し込み運転の場合
 - ※13 呼水水位検知用フロートスイッチは附属しておりません。
 - ※14 呼水水位警報は出力されません。
- 水中ポンプの場合
 - ※13 呼水水位検知用フロートスイッチは附属しておりません。
 - ※14 呼水水位警報は出力されません。
 - ※15 消火水槽減水警報を行う場合は、端子BKC2、BK4、BK5間に消火水槽満水・減水警報を出力します。
この場合、端子E2-E3間の短絡線を外し、フロートスイッチ(※15A、標準附属品)あるいは、電極棒(※15B)を接続してください。
- 特定施設水道連結型の場合(1, 5kW・2, 2kW・3, 7kW)
 - ※1は特定施設水道連結型の場合、補助水槽満水・減水警報の出力となり、配線は接続して出荷されます。
 - ※13 呼水水位検知用フロートスイッチは附属しておりません。
 - ※14 呼水水位警報は出力されません。
- 商用電源と自家発電の電源切替の際、ポンプが停止する前に電源を切り替えると、突入電流が発生し、配線用しゃ断器がトリップする場合があります。対策としてあらかじめ切替回路に5秒程度のタイマーを設置し、切替を遅延させてください。

(2) EPM3-A型の場合

- 消火栓始動リレーの取付スペースは、盤内にはありませんのでご注意ください。
- スプリンクラー設備の場合は、※5のように圧力スイッチを端子C1-C2間に接続します。この場合、消火栓始動リレーは不要となります。
- 屋内消火栓ポンプの場合は※4のように配線してください。ただし、消火栓始動リレー・受信機・発信機・表示灯、2号消火栓始動装置はお客様にてご用意ください。
- ※12端子C1-C2間、B1-B2間には無電圧接点を接続してください。

(3) EPM3-B型の場合

- 屋内消火栓設備の場合、ポンプと火災報知設備を連動せず1号消火栓の始動スイッチ又は、2号消火栓の始動装置により運転する場合は、図1(※6)又は図2(※7)のように接続します。
- スプリンクラー設備の場合は、※5のように圧力スイッチを端子C1-C2間に接続します。
また、スプリンクラー設備に補助散水栓を設置し、その表示灯に制御盤からAC24Vの電源を供給する場合は、図3(※8)のように接続します。
- 外部に接続する表示灯は30V2Wの場合40個まで接続できます。

(4) EPM3-C型の場合 (水中ポンプ、及び特定施設水道連結型は対応不可です)

- 壁掛型の場合は、消火栓始動リレー用固定板に消火栓始動リレーを取り付けてください。
(消火栓始動リレー固定板は、陸上ポンプで制御盤搭載の場合はポンプユニットに取付、その他の場合は附属されています。)
陸上ポンプで制御盤搭載の場合は、※10消火ポンプ制御盤と消火栓始動リレー間の配線は附属のケーブルを使用してください。
- 自立型の場合は、盤内にある消火栓始動リレー用スペースに消火栓始動リレーを取り付けてください。
また、※10消火ポンプ制御盤と消火栓始動リレー間の配線は、盤内の※11中継端子(TBA)に接続してください。
- 消火栓始動リレーは、お客様にて手配してください。取付けできる消火栓始動リレー型式などは、消火栓始動リレー別表によります。
- ※12端子B1-B2間には無電圧接点を接続してください。ただし、圧力空気槽付の場合は、※5圧力スイッチが接続されます。

(5) EPM3-D型の場合 (特定施設水道連結型は対応不可です)

- 壁掛型の場合は、消火栓始動リレー用固定板に消火栓始動リレーが取り付けられています。
(消火栓始動リレー固定板・消火栓始動リレーは、陸上ポンプで制御盤搭載の場合はポンプユニットに取付、その他の場合は附属されています。)
陸上ポンプで制御盤搭載の場合は、※10消火ポンプ制御盤と消火栓始動リレー間の配線は接続されています。
- 自立型の場合は、盤内に消火栓始動リレーが内蔵され、※10消火ポンプ制御盤と消火栓始動リレー間の配線は接続されています。
- 消火栓始動リレーと受信機及び、表示灯間の接続の詳細は、各消火栓始動リレーメーカーの接続図を参照してください。
- ※12端子B1-B2間には無電圧接点を接続してください。ただし、圧力空気槽付の場合は、※5圧力スイッチが接続されます。

御注文主 CUSTOMER		機器番号 ITEM NO.	
御使用先 FINAL USER		機器名称 ITEM NAME	
在 原 製 番	SER. NO.	機 名	MODEL
		吐出量 CAPACITY	全揚程 TOTAL HEAD
			同期速度 SPEED
			出力 OUTPUT
			数 量 Q' TY



EBARA

EBARA CORPORATION

図 番 DWG. NO. W3EPM3 000

W3EPM3

000
200915
A4-106